

第4回グループワークまとめ

1. 疑問・モヤモヤ・不安（現状への疑問・確認したいこと）

人口・まちづくり

- ・ 社会増（転入増）を目指す町の方針や、働く場所づくりはどのように考えられているのか。
- ・ 子どもの人口を増やすために、どのような対策が必要か。
- ・ 社会増や宅地整備によって、人口減少をどこまで補えるのか。
- ・ 企業は人口減少や子育てについてどのように考えているのか。

学校・保育

- ・ 約30年間学校を維持していくためには、どのような学校配置が望ましいのか。
 - ・ 富士見町の子どもを将来どのように育てていきたいのかという理念を明確にした
 - ・ い。
 - ・ 子どもの人数だけで判断するのではなく、地域や学校・保育の現状も踏まえて考えてほしい。
 - ・ 「3校3園」は現在の地区とセットで考えるものなのか。
 - ・ 3校を維持した結果、複式学級になった場合はどう対応するのか。
 - ・ 小規模特認校は町内で児童の奪い合いにならないか。
 - ・ 小規模特認校は県外からの受け入れも可能なのか。
-

2. 大切にしたいこと

子ども・教育

- ・ 子どもたちが自然豊かな環境で、ゆとりを持って成長できること。
- ・ 未満児保育の質を維持・向上させること。
- ・ 保育園から小学校へ前向きな気持ちで進学できる環境づくり。
- ・ アントレプレナーシップ教育など、新しい学びの推進。

地域・まちづくり

- ・ 企業や地域全体で子どもを育てる仕組みをつくること。
- ・ 企業や住民が挑戦し、働きたい・稼げるまちづくりを進めること。

- 移住施策を充実させ、子育て世代に選ばれる町を目指すこと。

将来を見据えた施設整備

- 将来世代に過度な財政負担を残さないこと。
 - 少人数化による負担や統合後の環境変化への不安など、保護者負担への配慮。
 - 避難所としての機能の維持。
-

3. さらに掘り下げたいこと

学校・保育園のあり方

- 小学校・保育園の複合化、長寿命化改修の選択肢。
- 義務教育学校や小規模特認校という選択肢。
- 学校選択の自由度はどの程度確保できるのか。
- 小学校・保育園の複合施設に子育て支援拠点を併設できないか。

人口・子育て

- 人口増・出生数増加につながる具体的な施策。
- 社会増によって人口減少をどこまで補えるのか。
- 移住者が多い地域の魅力を分析し、富士見町の施策に生かせないか。